

つれてってマチ

いつものマチに 白いマド。

マドの先には いつもとちがう 物語。

「いってみようかな。」

人がマドを前にした時、無意識に感じる外部への好奇心。
人は街へ出掛けたいくなる。
マドが元来持っている価値に着目し、方向を操作しながら
マドを街中に散りばめることで、街の奥へと人々を呼び込む。
人の動きを街全体に促すことで大井町への回遊性と滞在性
の向上を計る。住人にとっては誇りとなり、来訪者にとっては
街を訪れるきっかけとなるランドマークを提案する。



ふと外を見てみると

そこには 白いマドが立っていて

入ってのぞいてみると
いつもとちがうマチが見えてきた。

ちょっと足をのばしてみよう。

新しいお気に入りの場所見つけたよ。

マドからマチへ 始まるつぎの物語。

